

「日本の住宅の良さを知ることが大切」 地域に根ざして1世紀、 お客様に寄り添った工務店

東京総建

東京総建(世田谷区駒沢、蕪澤良行社長、03・3705・5744)は、大工であった祖父の代から数えると100年以上の歴史を持つ工務店である。現在の社長は3代目であり、主に木造新築工事、耐震工事、リフォーム工事を手がけている。

業界経験は長く、国土交通省の告示による一般社団法人リフォームパートナー協議会(RECACO)の登録業者であり、社長自身も2級建築士や既存住宅現況検査技術者登録証などの免許を有している。お客様第一をモットーに、豊富な経験や知識を活かした確かな技術力とお客様への親身な対応には定評がある。

「年々進化していく住まいに合わせ、日々新たな材料や法律改正について理解を深めて、お客様に安心していただける施工を心がけています。家は一棟ごとに状態が異なり、修理も仕上げも変わってきます。予算と最良の修理方法をお客様としっかり相談しながら、自分の学んだ経験を活かし、これからも住む人のためにより良い住



蕪澤良行社長と4代目となるご子息



同社施工事例

宅をつくり続けていきたいです」と、蕪澤社長は仕事に対する想いを語る。また、「耐震工事や高齢者世帯のバリアフリー工事は市町村によって違いますが、補助金が支給されるケースもあることを知らないお客様が多くいらっしゃいます。そういったお客様のためになる情報を今後もご案内できるように勉強の毎日です」と語っている。

住宅関係の工事を考えているが、不安を抱えている方はぜひ一度同社に相談してみたいかがだろうか。